

みんなが主役

クラブ活動日誌

File #12

いけばな 龍生派 佐藤和仙社中

いけばなの龍生派は、伝統に基づいて表現する「古典華」と、作者の思いを表現する「自由花」があります。入門後は、最初に教科書に沿って花型（かけい・花をいける基本なかたち）を覚え、表現手法の基礎を学びます。教科書による学習が終わった後、教室では、それぞれの個性を大切に花器や花材をみて、自由な発想でいけています。

先生の自宅と町公民館で行われている教室は、みなさん笑顔が多く、和気あいあいとした雰囲気の中で行われています。生徒の中には、小学生や30年近く通っている人もいます。また、最近入門した生徒たちは、年齢や職業など関係なく互いに「今教科書のどこをやっているの?」「どんな花をいけたの?」と刺激しながら学んでいます。

文化のつどい 大作を囲んで



▲自宅での稽古の様子

発表は、町の文化祭や文化のつどいのほか、千葉支部展や茶華道協会展での展示など年間を通してさまざまな機会があります。今年の文化のつどいでは、1人2作品を展示しました。また年に数回東庄病院の隣にあるオーシャンプラザに、ボランティアで大作も作っています。大作は見ごたえがあり、入院患者の癒しにもなって喜ばれています。

毎年、東庄中学校の日本文化体験学習には、社中で指導に行きます。子どもたちに大人気で、こちらも楽しく若さをいただいています。

いけ手の個性を大切にし、植物の魅力をひきだす日本文化のいけばな龍生派をぜひ学んでみませんか。

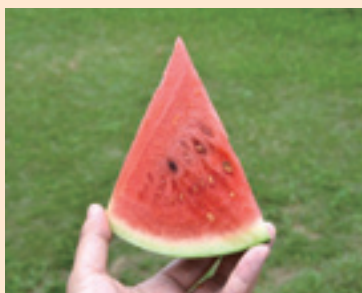
活動メモ

活動場所・活動日時／
自宅(窪野谷43-2) 毎月水曜日
3回 14:00~21:00のうち
生徒さんが来られる時間
町公民館 毎月第2・3木曜日
13:30~16:00
所属人数／男女15人
連絡先／佐藤和仙 ☎86-0394

旬の風

夏真っ盛りですね。私が小学生だった時の夏休みの過ごし方は、ラジオ体操にプール、かき氷に手持ち花火、肝試しなんかをした楽しい思い出があります。夏休みの日記は、8月の後半にやったことを思い出しながら書いていました。今の小学生の夏休みの遊びは、どんなことをするのでしょうか。

マスクを着用して過ごす暑い夏も3度目です。ですが、令和4年の8月は今年しかありません。子どもたちの1年はとても貴重な1年です。新型コロナウイルス、熱中症、水の事故や犯罪など、さまざまな事に気を付けなければなりません。この夏が楽しい夏でありますように。(さ)



▲夏はやっぱりこれですね

広報東庄

人が輝き地域が光るまち・とうのしょう

Tonosho Town Public Relations



2022 8

No.676



水あそびも
真剣でいいわ！

主な内容

- 高校生が聞く
- 町おこし女性にインタビュー — ②
- タウントピックス — ⑩
- くらしのカレンダー — ⑬

PHOTO/水あそび
こじゅりんこども園で、
水あそびが行われました。



東庄町
公式アカウント
友だち募集中

